

龍谷大学 犯罪学研究センター (CrimRC)



科学鑑定ユニット・シリーズ勉強会

デジタル・フォレンジック 鑑定と向き合うために

今日、スマホやパソコンなど情報技術が私たちの生活に深く浸透し、利便性が飛躍的に良くなったものの、これを用いた犯罪も巧妙かつ多岐にわたるようになり、個人情報の流出や詐欺などが後を絶ちません。このような情勢のもと、政府はデジタル庁を立ち上げ、地方の警察はサイバー犯罪対策を進めていますが、この種の事件の裁判では、デジタル証拠の複雑性からその証拠調べや証拠の信頼性などの審議がどのようになるのか、手探りの状態であるように思われます。

今回企画しました法科学研究会「デジタル・フォレンジック鑑定と向き合うために」は、情報技術を用いた証拠試料の鑑定の知識を得て理解し、司法に適用する上で刑事司法においてどのような理論的・実務的問題点があるかを考えるシリーズ勉強会です。

第1回公開研究会 実施概要

- 日時：2022年 **11**月 **19**日 (土)
18:00-20:00

- 会場：オンライン (Zoom)
- 参加費：無料 ※事前登録制
- 講師：平岡義博 氏

(立命館大学衣笠総合研究機構上席研究員、
犯罪学研究センター嘱託研究員)

- 報告タイトル：

司法におよぶ情報技術



詳細・申込ページ

次回以降の予定

※時期や内容は変更することがあります

- 2022年12月 第2回「コンピューター犯罪の裁判事例」講師：遠山大輔 氏 (戸田・遠山法律事務所 弁護士)
- 2023年1月 第3回「デジタル・フォレンジック試料の証拠保全ガイドライン」講師：大橋充直氏 (ヤエス第一法律事務所 弁護士、NPOデジタル・フォレンジック研究会)
- 2023年2月 第4回「音声・話者認識の現状」講師：柘植覚 氏 (大同大学情報学部教授)
- 2023年3月 第5回「デジタル・フォレンジック鑑定の証拠能力」講師：徳永 光 氏 (獨協大学法学部 教授)

問い合わせ先：龍谷大学 犯罪学研究センター
E-mail：crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp
Tel：075-645-2184